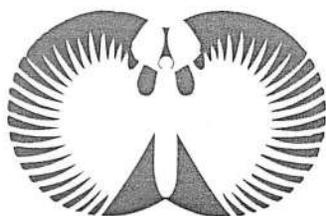


しよくぶつかんさつ

植物観察ノート

じゅ
樹

ひ
皮



観察日／

年 月 日 (曜日)

天気／



広島市植物公園

〒731-5156 広島市佐伯区倉重三丁目 495

電話 (082)922-3600

1 木の肌 ^{はだ} ～樹皮^{じゅひ}～

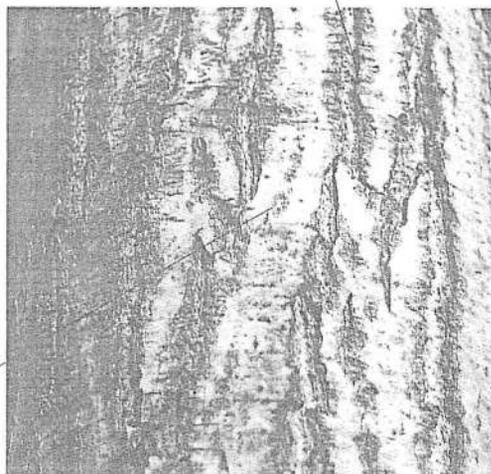


園内には、見上げるような大木
がたくさんあります。今回はその
木の肌^{はだ}を観察^{かんさつ}してみましょう。

^{じゅひ} ^さ
樹皮の裂け目

木が成長^{せいちよう}するにつれ、木の皮
(樹皮)は厚^{あつ}くなり、いずれ裂け
たり、はがれたりします。また、
樹皮には呼吸^{こきゅう}のための裂け目^さ
もあり、「皮目^{ひもく}」と呼ばれます。

ひもく
皮目



^{じゅひ}
クリの樹皮

2 いろいろな樹皮^{じゅひ}

樹皮^{じゅひ}の裂け方、はがれ落ち方、皮目^{ひもく}の形などは、木によってそれぞれ特徴^{とくちよう}があります。

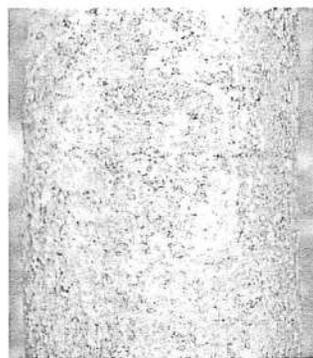
1) 樹皮^{じゅひ}の裂け方のいろいろ



ナラガシワ
たて^{たて}き^き
(縦に深く裂ける)

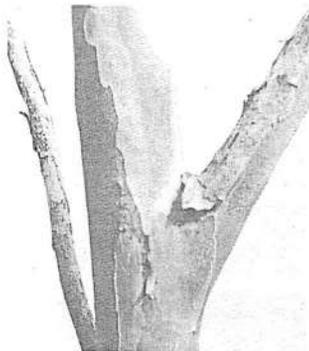


クロマツ
きっこうじよう^{きっこうじよう}き^き
(亀甲状に裂ける)

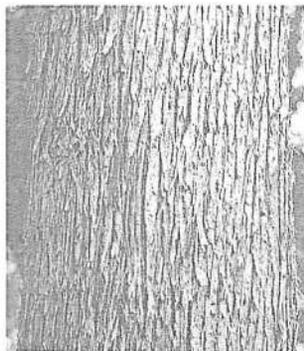


コシアブラ
き^き
(裂けずになめらか)

2) 樹皮^{じゅひ}のはがれかたのいろいろ



ナツツバキ
うす^{うす}じよう^{じよう}
(薄くまだら状にはがれる)



スギ
たて^{たて}
(縦に細長くはがれる)

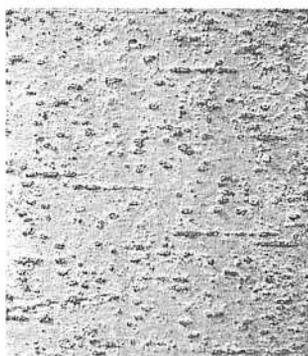


アカマツ
そう^{そう}
(層になってはがれる)

3) 皮目のいろいろ



タブノキ
ち
(散らばる)



ケヤキ
よこなら
(横に並ぶ)

4) その他

①木の肌の色にも
さまざまなものがあり
ます。

アカマツ — 赤茶色
アオギリ — 緑
シラカバ — 白

②木の肌をひっかく
と匂いのするものが
あります。

クロモジ
アズサ
タムシバ

③カラスザンショウ
のようにトゲがある
ものもあります。

カラスザンショウ▶
(とげがある)



3 ^{かんさつ}観察してみましよう ^{かんさつ ばしょ さいしゅう}（観察場所は最終ページの
^{かんさつ}観察マップを見て下さい。）

次の植物の樹皮をよく観察して、^{とくちょう}特徴を書き入れてみましょう。

A ^{じゅりんかんさつえん}ネジキ〔樹林観察園〕

^{じゅひ き}樹皮の裂け目はどのような方向
にのびていますか？

B ^{いけのきたへ}アベマキ〔池の北側〕

^{じゅひ}樹皮を押してみると、どんな感
じですか？

C ^{しばふ}ソメイヨシノ〔上の芝生広場〕

^{じゅひ もよう}樹皮の模様を書き入れてみよう。

D ^{じゅりんかんさつえん}リョウブ〔樹林観察園〕

^{じゅひ もよう}樹皮の模様を書き入れてみよう。

--	--

4 かいとう 解答と解説 かいせつ

A ネジキ

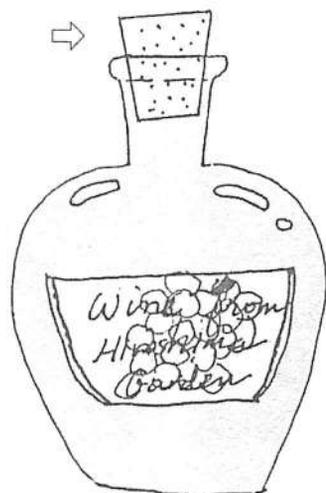
この木の樹皮じゅっぴの裂け目さは、まっすぐではなくねじれているので、「ネジキ」という名がつけられました。



B アベマキ

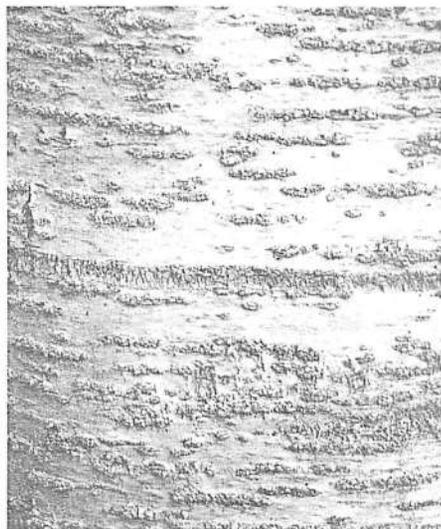
樹皮じゅっぴを押してみると、やわらかい感じがします。これは、アベマキの樹皮じゅっぴにコルク組織そしきが発達はったつしているからです。

ちちゅうかいえんがんぶ
地中海沿岸部に自生するコルクガシは、アベマキの2～3倍もの厚さあつのコルク組織そしきが発達はったつしています。コルクガシの樹皮じゅっぴはコルクの材料ざいりょうとして用いられますが、アベマキの樹皮じゅっぴもかつてはコルクの代用品として用いられていました。



C ソメイヨシノ

樹皮にある横しま模様は、呼吸のための裂け目、「皮目」が並んだものです。サクラの仲間の樹皮は光沢があり美しいので、工芸品などに用いられます。



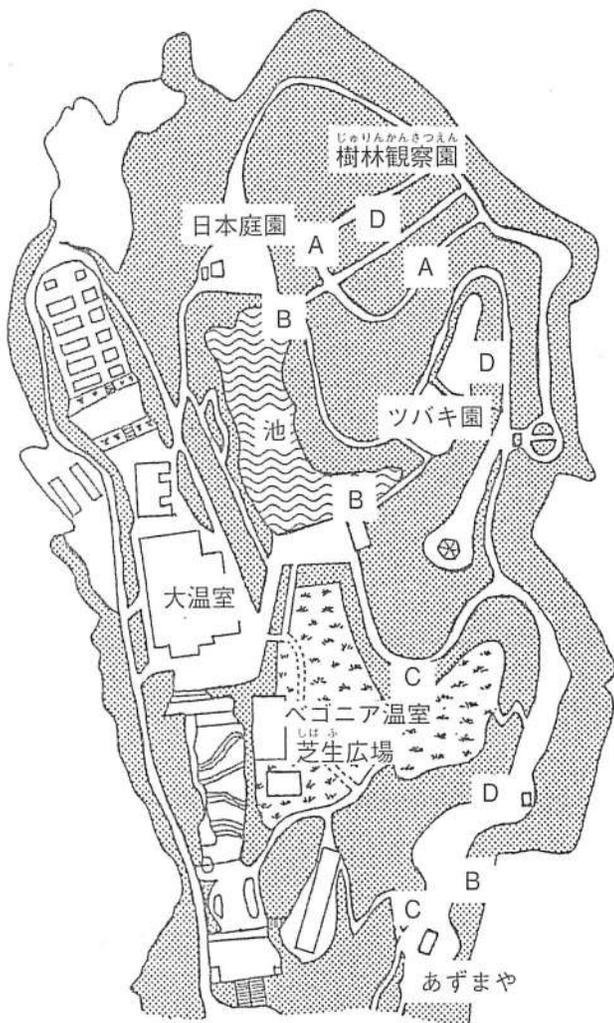
D リョウブ

樹皮が薄くはがれ、その幹には特有の模様がみられます。リョウブと同じように樹皮が薄くはがれ、幹がすべすべしているものには、サルスベリやナツツバキなどがあります。



えん ない かん さつ
園内観察マップ

場所	植物名
A	ネジキ
B	アベマキ
C	ソメイヨシノ
D	リョウブ



学校名	
学 年	年 組
名 前	